

審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要	
平成28年度第4回久喜市男女共同参画審議会		
1. 開会		
事務局	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>それでは、ただ今から、平成28年度第4回久喜市男女共同参画審議会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、人権推進課長の渋谷と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>本日の進行につきましては、お手元に配布させていただいております次第に従いまして、進めさせていただきたいと存じます。</p> <p>始めに、榎本会長からごあいさつを頂戴したいと存じます。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>	
2. あいさつ		
榎本会長	<p>改めまして皆さんこんにちは。本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>ただ今学習会で、埼玉県の矢嶋様からご説明いただきました。限られた時間の中で、たくさんのことをお聴きになりました。ご説明を受けて、いろいろなことを感じました。国の男女共同参画社会基本法、埼玉県の男女共同参画基本計画があつて、その上で、久喜市の新しい男女共同参画行動計画を作っていくことになります。国や県を参考にすることで、内容が網羅的になるという弊害もあるのですが、久喜市の現状を踏まえた久喜市独自の計画を作るという責めもあります。そのため、計画の内容を一生懸命諂っていかなければならない審議会だと皆さまも感じられたことかと思います。いろいろな苦労も伴うことでしょう。私が思いますのに、国や大企業などでは、女性活躍推進法をどんどん取り入れているようです。ですから、埼玉県の方のお話も、それに準じたお話になっていました。今日のお話をヒントにして、例えば働き方であれば、商工観光課とタイアップして現実的に推進することがいいと思いました。人権推進課が全てを抱えて、それぞれの部署に指導するのは限界があると思っていたところです。そのようなことも考えながら、本日も進めていきたいと思います。</p> <p>本日は、市民意識調査の結果と現状を取りまとめたものを説明いたしたこととなっております。今日は、市からの説明を伺うことを中心にして、しっかりと頭にいれて、ご自宅で勉強していただき、次の審議会等で反映することになると思います。報告書のページがたくさんありますから、大事なところを重点的にやっていただければと思います。</p> <p>今日は、よろしくお願ひいたします。</p>	
事務局	ありがとうございました。	

3. 議題

事務局	<p>それでは、議事に入ります前に、本日の配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【配布資料について説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 平成28年度久喜市男女共同参画に関する市民意識調査報告書 ・資料2 久喜市の男女共同参画に関する現状と課題について <p>以上3点でございます。資料はよろしいでしょうか。</p> <p>では、次に審議会開催にあたりまして、定足数の関係でご報告させていただきます。久喜市男女共同参画を推進する条例第21条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない旨の規定がございます。</p> <p>本日は、10名の委員全員に出席いただいておりますので、本会議が成立していることを、ご報告させていただきます。</p> <p>また、本日の会議録の署名でございますが、名簿順で、石田委員と稻葉副会長となっておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>次に会議の議長の関係でございますけれど、会議は会長が召集し、その議長となるという規定がございます。従いまして、これから会議の進行につきましては、榎本会長にお願いしたいと存じます。議長になつていただいて議事を進行していただければと思います。</p> <p>それでは榎本会長、よろしくお願ひいたします。</p>
榎本会長	<p>承知しました。それでは議題に入りたいと思います。</p> <p>本日は2つ議題があります。意識調査の結果と久喜市の現状と課題、時間配分はどうなりますか。</p>
事務局	<p>意識調査の結果報告の方が資料も多くなっております。こちらの方を長く説明させていただきます。</p>
榎本会長	<p>分かりました。時間が限られていますので、よろしくお願ひいたします。</p>
議題(1)男女共同参画市民意識調査の結果	
榎本会長	<p>では、議題(1)の意識調査の結果報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、「平成28年度 久喜市男女共同参画に関する市民意識調査」の調査結果についてご報告いたします。</p> <p>説明に入る前にご案内させていただきます。</p> <p>まず、今回の意識調査の集計につきましては、市職員による集計となっています。報告書の内容は、データの集計結果を中心になっておりますので、ご了解をいただきたいと思います。</p> <p>また、時間の都合上抜粋した説明になりますので、あらかじめご了承くださいますようお願ひいたします。</p> <p>そして、平成29年度は、久喜市男女共同参画行動計画（第2次）の策定を進めるにあたり、計画策定のためのコンサルタント（委託業者）を加えて計画策定を進めていく予定でございます。業務委託についての、平成29年度予算措置は済んでおります。平成29年度の審議会では、</p>

コンサルタントを加えて進めていくことになります。コンサルタント（委託業者）は、新年度に入ってから選考します。

それでは、報告書について説明させていただきます。

1. 回答者の属性

問1から問7まで（7ページから20ページまで）

- ・問1【性別】について。「女性」が55.5%、「男性」が44.5%。若干女性の方が多くなっている。
- ・問2【年齢】について。「60歳～69歳」が26.6%と最も多い。「20～29歳」は7.5%と最も少ない。
- ・問3【職業】について。全体では「会社員・団体職員」が27.2%で最も多い。働いている人として、「会社員・団体職員」、「自営業・自由業」、「パート・アルバイト」、「公務員・教員」の合計は55.0%。女性における「パート・アルバイト」の割合は27.3%となっており、全体における「会社員・団体職員」の割合より多い。このことから、久喜市において、女性の非正規労働者が多いことが伺える。
- ・問4【結婚】について。「結婚している」、「結婚していたが離別・死別した」の合計は83.6%。前回の調査（82.7%）より0.9ポイントの増加。
- ・問5【配偶者の職業】について。全体では「会社員・団体職員」、「無職」の2つが同率で33.3%と最も多い。前回調査とほぼ同様の数値となっている。
- ・問6【子どもの人数】について。全体では「2人いる」が45.0%と最も多い。全体では、人数に関係なく子どもがいるとの回答（「1人いる」、「2人いる」、「3人いる」、「4人以上いる」の合計）は、77.4%。全体では、「2人」「1人」「3人」「4人以上」の順で割合が多い。前回の調査と同じ順番である。全体では、「子どもはない」は19.3%で、2番目に多い回答になっている。
- ・問7【家族構成】について。「2世代の世帯（親と子ども）」が49.8%と最も多い。次いで「夫婦のみ」が29.1%。

以降は、設問を抜粋して説明いたします。

2. 男女平等・男女共同参画に関する意識について

問8から問12まで（21ページから96ページまで）

- ・問8【男女共同参画に関する言葉の周知度】について。全体では、「①男女共同参画社会」について「知らない」という回答が44.0%。「①男女共同参画社会」について、「内容まで詳しく知っている」、「おおよそ知っている」、「言葉は聞いたことがある」の合計は53.1%。前回の調査結果（52.0%）から1.1ポイント増加している。
- ・「②女性活躍推進法」「⑦ジェンダー（社会的性別）」「⑨リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）」「⑩配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」「⑪LGBT（性的少数者）」「⑫DV（ドメスティック・バイオレンス）」「⑬デートDV」は、今回の調査で始めて設問に加えた項目

である。「⑩配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」と「⑪DV（ドメスティック・バイオレンス）」以外は、全体において「知らない」の割合が多く、啓発がまだ不十分であると考えられる。

- ・問9【男女の地位の平等】について。「②職場の中で」「⑤政治・政策方針決定の場で」「⑦社会通念・慣習・しきたりなどで」「⑧社会全体の中で」では、全体において「平等である」の割合が低く、「男性の方が優遇されている」の割合が高い。また、今回の調査では、設問に「⑨社会全体の中で」を加えている。
- ・問10【男女平等のために重要なこと】について。全体において、「男女が互いを尊重しあい、協力しあう、人権の尊重された環境づくりを行う。」が39.6%と最も多い。
- ・問11【男は仕事、女は家庭 という性別役割分担意識】について。全体において、「反対である」、「どちらかといえば反対である」の合計が42.3%で、前回の調査結果(28.0%)より14.3ポイント増加している。全体において、「賛成である」、「どちらかといえば賛成である」の合計は26.7%で、前回の調査結果(26.2%)より0.5ポイント増加している。全体において、「どちらとも言えない」は29.8%で、前回の調査結果(41.1%)より14.4ポイント減少している。
- ・問11-1【性的役割分担意識に賛成した理由】について。全体では、「子どもの成長にとって良いと思うから」が44.3%と最も多い。次いで「性別で役割分担をした方が良いと思うから」が23.3%。
- ・問11-2【性的役割分担意識に反対した理由】について。全体では、「男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が44.2%と最も多い。次いで「女性が家庭のみしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから」が18.5%。
- ・問12【女性の進出を進めるための措置】について。全体では、「女性の職員、社員等に対して、採用・登用・教育訓練などに目標を設けたり、女性の進出を促す計画を策定する」が50.1%と最も多い。次いで「審議会や委員会などへの女性の登用を進めるなど、政策への参画機会の提供を図る」が27.0%。

3. 家庭生活について

問13から問15まで (97ページから132ページまで)

- ・問13【家庭での役割分担】について。全体では、「①食事の支度」や「④洗濯」など、家事に関する項目において、「主として女性」の割合が高い。久喜市では、家事の負担が女性に偏っている現状が見られる。
- ・問14【男性の育児・介護休業の取得】について。全体において、育児休業・介護休業、いずれにつきましても「積極的に取得した方がよい」の割合が最も多く、次いで「どちらかといえば取得した方がよい」となっている。久喜市では、育児休業・介護休業とともに、男性の取得を望んでいる人が多い現状が見られる。
- ・問15【男性の家庭、地域活動の参加のために必要なこと】について。全体において、「夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図ること」が65.0%と最も多い。これは、前回の調査結果(63.5%)でも最も多い回答だった。また、「労働時間短縮や休暇制度が普及し

て、仕事以外の時間により多く持てるようとする」が 48.4%、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」が 44.8%。のことより、久喜市では、男性の意識改革、または男性を取り巻く環境の変化が必要なのではないかと感じている割合が多い現状が見られる。

4. 男女の就業・仕事について

問16から問19まで（133ページから150ページまで）

- ・問16【女性が職業を持つこと】について。全体では、「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける方がよい」が 35.8%と最も多い。次いで「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が 33.1%となっています。前回の結果と比較すると、最も割合の多い回答と2番目に割合の多い回答が逆になっている。
- ・問17【職場における男女間の待遇の差】について。全体では、「ある」が 41.9%で、前回の調査結果(48.7%)より 6.8 ポイント減少している。「ない」は 54.7%で、前回の調査結果(38.8%)より 15.9 ポイント増加している。
- ・問17-1【職場において、どのような面で差があるか】について。全体では、「職務内容」が 59.2%と最も多い。
- ・問18【女性が働き続けるため、再就職のために必要なこと】について。全体では、「保育施設や学童保育の充実」が 64.0%と最も多い。次いで「家族の理解や家事・育児などへの参加」が 58.0%。
- ・問19【男女共に仕事と家庭の両立をしていくために必要なこと】についての設問。全体では、「育児・介護休業など利用できる職場環境をつくること」が 42.8%と最も多い。次いで「子育て支援の充実（保育環境の整備等）」が 33.3%。

5. 男女の就業・仕事について

問20から問21まで（151ページから158ページまで）

- ・問20【仕事と生活の調和（現状）】について。男性は「仕事を優先にした生活」が 41.0%と最も多く、次いで「仕事と仕事以外の生活がバランスよくとれている生活」が 22.7%となっている。一方、女性は「家庭生活を優先」が 40.1%と最も多く、次いで「仕事を優先」が 20.0%となっている。
- ・問21【仕事と生活の調和（理想）】について。女性・男性ともに「仕事と仕事以外の生活をバランスよくとりたい」が 45.3%と最も多く、次いで「家庭生活を優先したい」が 20.4%となっている。問8で、「ワーク・ライフ・バランス」の周知度（「内容まで詳しく知っている」、「おおよそ知っている」、「言葉は聞いたことがある」の合計）は 48.0%であった。このことからも、久喜市では、「仕事と生活の両立」を理想としている方が多いことが伺える。

6. 地域活動について

問22から問22-1まで（159ページから184ページまで）

- ・問22【地域活動の参加と、今後参加したい活動】について。全体では、女性・男性ともに「①自治会・町内会」において、「参加した

ことがある」が 63.8%と最も多い。「④国際交流・協力」において、「今後参加したい」が 45.9%と最も多いが、「参加したことがある」が 6.1%と最も少ない。

- ・問 22-1 【地域活動に参加しない理由】について。全体では、「仕事が忙しいから」が 20.3%と最も多い。次いで「あまり関心がないから」が 16.4%。

7. 学校教育について

問 23 (185 ページから 188 ページまで) は割愛します。

8. ドメスティック・バイオレンスについて

問 24 から問 26 まで (189 ページから 266 ページまで)

- ・問 24 【配偶者等からの暴力と認識される行為】について。全体では、「①骨折、打ち身、切り傷などのケガをさせる」について、「どんな場合でも暴力にあたる」、「②平手でなぐる、足でける」、「③刃物などを突きつけておどす、物をなげつける」、「④突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする」の割合は 8 割を超えており、これらの身体的な暴力でについても、少數ではあるが、「暴力にあたるとは思わない」と回答がある。また、経済的な暴力である「⑫生活費を渡さない」について、「どんな場合でも暴力にあたる」の割合は、全体では 64.9%で、前回の調査結果(63.7%)より 1.2 ポイント増加している。これに対して、「⑦何を言っても長期間無視し続ける」、「⑧電話、メール、郵便物、交友関係を細かく監視する」については「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が、全体において、それぞれ 32.8%、29.9%と割合が多くなっている。ドメスティック・バイオレンス防止に関する啓発の必要性・重要性を感じる結果である。

・問 25 【配偶者等からの暴力の経験】は割愛します。

・問 25-1 【暴力について相談したか】について。全体において、「相談しようとは思わなかった」が 57.2%と最も多い。

・問 25-2 【相談した場所・人】は割愛します。

・問 25-3 【相談しなかった理由】について。全体において、「相談するほどではないと思った」が 48.6%で最も多い。

・問 26 【DVを防止するための取組み】について。全体では、「被害者が早期に相談できる窓口の設置」が 71.7%と最も多い。次いで「小中学校・高等学校などの教育機関において、DV 防止のための知識を教える」が 53.3%。

9. 久喜市の男女共同参画を推進するための取り組みについて

問 27 から問 28 まで (267 ページから 274 ページまで)

・問 27 【女性の健康支援のために重要なこと】は割愛します。

・問 28 【市の施策として推進すべきこと】について。全体において、「子育て、高齢者対策等の福祉を充実する」が 57.2%で最も多い。次いで「職場における男女の機会均等や就業環境の整備」が 42.5%。

以上が今回の調査結果でございます。

また、男女共同参画についての自由記入欄を設けておりまして、様々

	<p>な意見が寄せられています。いずれにても、男女共同参画に関する関心が高まっているのではないかと思います。</p> <p>抜粋での報告となりましたが、報告書については以上でございます。よろしくお願ひいたします。</p>
榎本会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問、ご意見がありましたらお願ひいたします。</p>
中村委員	<p>まず、この報告書を見せていただき、大変な作業量で、時間がかかったことだと思います。お疲れさまでした。</p> <p>報告書を見せていただいて、直感的に思ったことがひとつあります。28ページを見てください。表の下に、「1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字」と記載されていて、表を見たときに、1番多い回答と2番目に多い回答がよく分かりました。次に83ページを見てください。このページ以降も出て来るのですけれども、グラフの下にある「賛成」、「どちらかといえば賛成」の前に四角があります。黒や白は分かるのですが、「どちらかといえば反対」、「わからない（どちらともいえない）」の四角の模様が分かりにくいですよね。なので、この四角をもう少し大きくするか、あるいはグラフの各項目の一番下に、平行になるように「賛成」などの説明書きがあると分かりやすいですね。グラフもよく見ると分かるのですが、表での1位の項目、2位の項目が分かりやすいのに対して、グラフでは83ページ以降に、やはりこのような形があります。</p> <p>四角の枠とか考えて検討した方がいいのかなと思いました。内容というよりも直感的に思ったことですが、よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>四角を大きくすることや、配置を移動させることは可能ではあるのですが、一括して修正することが出来ない項目であるため、かなり時間がかかります。編集作業に使用したパソコンのソフトのフォーマットとして、四角の大きさを調整できず、文字の位置も個々に調整することはできません。ひとつずつ手作業をすることになると思います。</p> <p>なお、現在配布している資料ではモノクロとなっていますが、ホームページ等での公開する資料については、報告書全体が着色されています。個々のグラフの項目についても色を変えています。例えば、青や赤で着色されてたり、紫色で斜線になっていたり、緑で横線になっていたりします。今回はモノクロで印刷した原本から、さらにコピーしたものであるため、色が薄くなってしまい、見づらくなってしまいました。</p>
倉持委員	順次左側から項目を並べるというのはどうでしょうか。
事務局	グラフについては、83ページのように横に並んでいる場合、設問の回答番号順に左から並んでいます。また、86ページのように縦に並んでいる場合は、設問の回答番号順に上から並んでいます。
中村委員	<p>こういう報告書は、見る人が分かりやすいうように親切に書いてもらっている部分ですよね。この四角の枠を見ると正直分からないと直感的に感じました。見ていただく人に本当に申し訳ないと思ったところです。</p> <p>ホームページでは、カラーで分かりやすくなっているということですが、私達以降の世代の方、もっと若い方でも、市のホームページをほとんど見ていない方が多いですね。やはり報告書を手に取って、興味を持って見てもらった時に、分かりやすい部分は欲しいところです。作業量のことを考えずに言わせていただきましたが、よろしくお願ひします。</p>
榎本会長	中村委員の発言はよく分かります。事務局に、ちょっと努力していただいて、更に分かりやすくしていただければ、ありがとうございます。

稻葉副会長	<p>今の意見と同じような事ですけど、57ページを見ていただけますか。57ページに全体の調査結果のグラフがあり、58ページには表がありますね。情報としては、これらは同じことなので一つにまとめてはどうかと思います。グラフの方が分かりやすいのならグラフに、表の方がよければ表で作る。同じ情報を、二度手間で全部の調査項目に渡って作成されてるので、ひとつにまとめて工夫されたらよろしいかと思います。</p> <p>もう一点、分類が「男女別」、「年齢別」、「前年との比較」となっています。気になったのは、「年齢別」が出ていない調査項目がありました。「年齢別」で見ると、年代別のそれぞれの特性が出て、20代の人はこう考えているが、我々と同じ年代の人はこう考えている、ということが分かります。データそのものはあると思うので、「年齢別」で抜けているものはお願いしたいです。</p>
事務局	<p>「年齢別」については、全ての設問項目で含めています。</p> <p>問8や問9のように、①～⑩まで複数の回答項目がある設問は、最初に①～⑩までを一括して集計した表を掲載しています。一括して集計している都合上、こちらには「年齢別」の表が掲載されていません。そのページに続けて、回答項目ごとの表を「年齢別」を含めて掲載しています。</p> <p>例えば問9では、55ページから62ページまでに回答項目①～⑧までを取りまとめた表とグラフを掲載しています。続いて63ページでは、「①家庭生活の中で」について、全体のグラフが掲載されており、64ページの上に「男女別」、「前回調査結果」を比較した表、その下に「年齢別」の表が掲載されています。こちらの表で、各年代におけるデータが分かるようになっています。</p>
稻葉副会長	分かりました。それで見てみます。
榎本会長	今の稻葉副会長のご意見ですけれども、グラフと表で二重になっているとも思えない印象を受けました。
倉持会長	情報量は同じですけど、グラフと表では見方がちょっと違うので、やはり2種類あった方が良いと思います。
榎本会長	私も、これはこれであった方が良いとの印象を持っています。
稻葉副会長	すでに報告書として作っていただいたものですから、削らなくてもよいと思います。私はグラフと表で同じ情報を取り扱っているので、両方見ることはあるのだろうかと思いました。
榎本会長	他にいかがでしょうか。 まだ、いまいち把握しきれていないのですが、前回の調査よりも共同参画に対する意識が進んでいる印象がいたします。
事務局	設問項目の変更もあるので、全ての項目において、前回調査と比較できないため、大変申し訳ありません。
榎本会長	比較することは大事ですよね。先ほどの説明の中で、「前回の調査はこうであったけれども今回はこうだった。」と比較していただいたのはよかったです。
事務局	<p>前回の平成22年度調査については、報告書の4ページに記載されています。</p> <p>合併直後の平成22年10月1日から実施しました。平成22年度調査では、対象者は1,000人でしたが、今回の平成28年度調査では、対象者は2,000人と倍になりました。</p>

稲葉副会長	前回調査した地域と、今回調査した地域は同じですね。合併前の久喜市ではなく。
事務局	はい。平成22年度でも、調査地域は現在の久喜市と同じ地域です。
榎本会長	委員の皆さんも、家に帰られてから、今一度しっかりとご覧になっていただきたいと思います。私もぜひとも目を通させていただきます。よろしいでしょうか。議題(1)については以上になります。
・議題（2）久喜市の男女共同参画に関する現状と課題について	
榎本会長	それでは次の議題に移らせていただきます。 続いて議題(2)「久喜市の男女共同参画に関する現状と課題について」 事務局より説明お願いします。
事務局	<p>それでは、資料2をご覧ください。</p> <p>平成28年度意識調査の結果や、久喜市の統計情報に基づいて、久喜市の男女共同参画に関する現状と課題についてご説明させていただきます。</p> <p>①【少子高齢化が進行している】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久喜市の総人口に対する65歳以上の人口の割合(高齢化率)について。平成25年は23.30%、平成26年は24.63%、平成27年は25.97%、平成28年は27.08%。年々高齢化率が上昇している。 ・久喜市の合計特殊出生率(1人の女性が一生の間に生む子どもの数)について。平成25年は、久喜市では1.11、埼玉県では1.33、全国では1.43。平成26年は、久喜市では1.13、埼玉県では1.31(全国第7位)、全国では1.42。どちらの年でも、久喜市は全国及び埼玉県を下回っている。 ・久喜市の15歳未満の年少人口15歳未満の割合について。国勢調査によると、平成12年では15.2%、平成17年では13.4%、平成22年では12.4%と年々減少傾向にある。少子化の進行が分かる。 <p>②【核家族世帯率が高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年国勢調査によると、核家族世帯率が、久喜市では66.6%、埼玉県では62.2%(全国第2位)、全国では56.3%。国や県と比較しても久喜市の核家族世帯率は高い。 ・平成17年の国勢調査では、核家族世帯率が、久喜市では68.1%、埼玉県では64.4%(全国第2位)、全国では57.9%。こちらも、国や県と比較しても久喜市の核家族世帯率は高い。 <p>※次世代育成行動計画(後期)により。合併前の旧1市3町の数値を集計。</p> <p>③【女性労働力率の出産・子育て期の落ち込みがある。(M字度の変化がある)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年国勢調査によると、久喜市の女性の年齢別労働力人口の割合は、減少の幅が平成17年の国勢調査より少しづつ小さくなっている。(「M字カーブ」が多少緩やかになっている)しかし、依然として、30歳から34歳の女性の出産期、子育て期にあたる女性の労働力は低い傾向にある。 ・平成28年度市民意識調査では、問16【女性が職業を持つこと】について、「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける方がよい」が35.8%

で最も多かった。平成22年度市民意識調査では「子どもができた
ら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が49.6%
で最も多かった。女性が職業を持つことへの考え方へ変化が現れて
いる。

④【地域での男女共同参画には進んでいるが、活動内容によっては性別
による偏りもみられる。】

- ・平成28年度市民意識調査の問22において、「①自治会、町内会活動」が男女ともに最も割合が高い。(女性64.7%、男性62.7%)
- ・女性では、上から順に「①自治会、町内会活動」(64.7%)、
「②PTAや子ども会活動」(59.0%)、「⑥趣味・教養・スポーツ」
(41.0%)
- ・男性では、上から順に「①自治会、町内会活動」(62.7%)、「⑥趣味・
教養・スポーツ」(39.6%)、「②PTAや子ども会活動」(30.2%)。
- ・特に、「②PTAや子ども会などの活動」については、性別による
偏りが見られる。(女性59.0%に対し、男性30.2%)

⑤【男女共同参画についての若い世代の周知度は低く、性別役割分担
意識はどちらとも言えないが多い】

- ・平成28年度市民意識調査の問8では、「①男女共同参画社会」の
周知度(「内容まで詳しく知っている」、「おおよそ知っている」、
「言葉は聞いたことがある」の合計)が53.1%。平成22年度市民
意識調査での周知度(52.0%)より1.1ポイント増加している。若い
年代層「30歳～39歳」の「知らない」は58.9%。平成22年度
市民意識調査結果(57.1%)と比較すると依然として低い。
- ・平成28年度市民意識調査の問11では、性別役割分担意識につい
て「分からぬ・どちらともいえない」が29.8%と最も多く、
平成22年度市民意識調査(44.2%)から14.4ポイント減少して
いる。一方で、平成28年度市民意識調査での「どちらかといえ
反対」、「反対」の合計が42.3%であり、平成22年度市民意識調査
(28.0%)から14.3ポイント増加している。よって、久喜市では「性
別役割意識に反対する」傾向が強くなっていることが分かる。

⑥【仕事と生活の調和が求められている】

- ・平成28年度市民意識調査の問21では、「仕事と生活の両立の
理想」について、女性・男性ともに「仕事と仕事以外の生活をバ
ランスよくとりたい」が45.3%と最も多い。
- ・平成28年度市民意識調査の問20では、「仕事と生活の両立の
現状」について、女性は「家庭生活を優先した生活」が40.1%と
最も多く、男性は「仕事を優先した生活」が41.0%と最も多い。
よって、理想と現実では、開きがあることが分かる。
- ・平成28年度市民意識調査の問19では、仕事と家庭の両立支援の
取組みとして、「育児・介護休業など利用できる職場環境をつくる
こと」が42.8%と最も多い。

⑦【政策方針決定の場での男女共同参画に性別による偏りがみられる】

- ・久喜市の審議会等における女性登用率は、平成28年4月1日現在
では32.1%、平成28年10月1日現在では33.7%。
- ・久喜市の目標である「1つの審議会等の女性登用率を30%以上、

	<p>また市全体の審議会等の総数の女性登用率を40%以上にすること」について。全体では女性登用率30%を超えていいる。個々の審議会等については、専門的分野であることなどを理由として、女性委員のいない審議会もございます。</p>
	<p>⑧【配偶者等からの暴力に関する認識にばらつきがある】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度市民意識調査の問24では、「⑦何を言っても長期間無視し続ける」、「⑧電話、メール、郵便物、交友関係を細かく監視する」について、「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が他の項目より高くなっている。(どちらも「どんな場合でも暴力にあると思う」の割合が最も多い。)
	<p>以上の現状を踏まえた課題として、次の6点が課題となっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民、事業者及び市の協働により、男女共同参画を推進する必要がある。 男女とも働き方の見直しをする必要がある。 仕事と生活の調和を進める必要がある。 より一層の男女共同参画意識の啓発を図る必要がある。 教育の場における男女平等教育の推進を図る必要がある。 性別に起因する暴力がなく、生涯にわたり男女が健康な生活を営むことについても配慮された個人としての尊厳が重んぜられる社会の実現に向けた取り組みが必要である。
	<p>国の第4次基本計画において強調している視点については、先ほどの学習会で講師から説明がありましたので、省略させていただきます。</p>
	<p>久喜市男女共同参画行動計画（第2次）は、以上の現状や課題を鑑みて、久喜市男女共同参画を推進する条例、基本理念、責務、市・市民・事業者との協働、禁止事項などに即した視点を盛り込んで策定していきたいと考えております。</p>
	<p>事務局からの説明は以上です。よろしくお願ひいたします。</p>
榎本会長	<p>ありがとうございました。今、現状と課題について説明がございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見がありましたらお願ひいたします。</p>
石田委員	<p>現状⑤で「若い世代の周知度が低い」とあり、「知らない」の割合が、20歳代で35.1%、30歳代で58.9%となっていて驚きました。 どうして30歳代が落ちているのでしょうか。</p>
榎本会長	<p>ちょっとびっくりしますね。</p>
稲葉副会長	<p>報告書では何ページにありますか。</p>
事務局	<p>30ページをご覧下さい。下の段に「①男女共同参画社会」の周知度について、年齢別の表が載っています。 「知らない」の割合が、どの年代でも多い傾向にあります。「詳しく知っている」の割合は、本当に少ないです。</p>
稲葉副会長	<p>この表を見ると、30歳代だけが特別低いわけではないようです。他の年代に比べて、20歳代だけが若干知っている人の割合が高いことが特徴ですね。</p>
貞方委員	<p>現状⑤の表現について、20歳代と30歳代の言葉が逆ではないかと思います。</p>

	2行目で、「知らない」と答えた人の割合は20歳代が35.1%、前回の調査が52.6%ですから、比較すると17.5ポイント低くなっています。
吉野委員	20歳代の認知度が高くなっています。
事務局	国の調査と比較することができます。平成28年度の内閣府による、「男女共同参画に関する世論調査」において、「男女共同参画社会という言葉を見たり聞いたりしたことがある」の割合が66.6%となっています。久喜市の周知度は53.1%ですから、13.5ポイント低くなっています。
貞方委員	数年間で急に20歳代の認知度が高くなったのは、少し考え過ぎかも知れませんが、学校教育の関係という気がします。 ところが、30歳代が相変わらず「知らない」割合が多いまま変わらないのは、若い時代にそういう教育を受けていないからと考えてしまいました。
稻葉副会長	20歳代を見ると、「知らない」という人が減ったということよりも「言葉は聞いたことがある」という人が増えているのが特徴ですよね。
榎本会長	学校教育は非常に大きい影響を持つと思います。社会全体で、非常にこのような問題に関して底上げができるとして、国が女性の活躍推進に熱心に取り組んでいるさまが現れている感じがします。追い風ですよね。
倉持委員	久喜市の取組みについても、国政の追い風があつて、周知度が少しずつ上がってきてているようです。 しかし、少子高齢化の改善にはつながっていないようです。以前、ある調査で、「職業を持って働いている女性の方が多く出産される」という結果を見たことがあります。久喜市内で女性が働くことのできる職場がないことも原因なのかなと思いました。そうだとすると、役所の人がいろいろ努力しても、なかなか少子高齢化の改善にはつながらないかもしれません。私達がどうすればいいのか思い浮かばないところです。企業の方、吉野委員はいかがお考えですか。
吉野委員	先ほど、30代の子育ての方々が職を持たない状態になるM字カーブが緩やかに改善しているとあり、職業についたまま子育てできる環境は少しづつ整ってきているのかなと逆に感じておりました。 ただ、意識調査の結果にもありましたように、保育所などの環境整備とかは、まだまだ追いついていないので、子育て期間中も子どもを預けながら仕事を続けられることが進んでいない。もっともっと進めるためには、そういうところに手をつける必要があるのかと思いました。先ほど県の講師からも、国や県の助成金の話がありましたが、企業内託児所の観点とともに、私共ももっと考えていかなければいけないと思っている次第です。
榎本会長	資生堂さんのように大きい企業、しかも女性の多い職場という事で、取組みが非常にしっかりとおられるのは分かります。 しかし、いつも私共が突き当たるのは、小さな事業者のケースが多い。だから、何か打つ手がないだろうかという気分に陥りがちでしたが、商工観光課など担当課とタイアップして、小さな事業者に向けての啓発を大事にしていくことができる時代になった感じがします。
倉持委員	私としては、企業の取組みよりも、働き口が少ないのが原因ではないかと思いました。
榎本会長	久喜市に住んで働く女性や男性について考えてみると、男性は電車に乗って通勤に1時間30分以上かけることがあります。女性も電車に乗って勤めに行くとすると、大宮に行く場合でも20分から30分ほどかかります。本当は女性も男性も久喜市内で就労できたら、最も良いの

	ですけれども。久喜市の現状として、市外に働きに行かなくてはならないケースが多いですね。そこにつまずきがありますよね。
倉持委員	いろいろな取り組みをしている中で、合計特殊出生率が上がらないのは、そこに問題があるのかなと思ったのですけど、どうしたらいいのか分からぬですね。
榎本会長	先ほど吉野委員のお話にあった、保育所に関連しますが、久喜市には待機児童はいますか。現在、改善されていますか。
事務局	平成28年度については、待機児童が出ていると思います。平成29年度については、現在保育所の入所決定が行われているところです。 現在は、認定子ども園に移行している幼稚園がございましたり、東鷺宮駅前に保育所が新設されたりしております。保育所など子どもを預けられる環境は、平成28年度よりもかなり増えており、改善の傾向にあると思います。
榎本会長	良い傾向にありますね。
事務局	これらの環境を利用して、お母さん達は、子どもを預けて働きに行けるのではないかと思います。以前は、幼稚園を希望されているご家族が多くかったのですが、最近は、保育園を希望されるご家族が多くなっており、保育所を整備しても、なかなか追いついていかない現状があります。
倉持委員	保育園を希望するということは、働きたいってことですよね。そもそも働く場所がないと、働くことはやはり駄目だと思ってしまい、保育所を希望しないでしょう。そういう意味では、保育所の待機率だけではなかなか判断できないと思います。 久喜市の先々のことを考えた取り組みを行ってほしいですね。
榎本会長	そういう点でも久喜市は変わってきたよね。 そろそろ時間となつてまいりました。審議会の後に、委員の皆さまがご意見を思いつかれたら、人権推進課の職員に文書を届けるとか、直接お話しするとかお願いしてよろしいでしょうか。
一同	はい。
榎本会長	それでは、2つの議題をこれで終了させていただきます。 ご協力ありがとうございました。
人権推進課長	榎本会長、議事の進行ありがとうございました。 それでは、次第4「その他」でございます。委員の皆さまから何かございますでしょうか。 よろしいでしょうか。
一同	はい。
4. その他	
事務局	次回の会議の開催予定でございますが、平成29年5月23日(火曜) 午後1時30分から、4階大会議室で予定しております。 改めて通知をいたしますので、よろしくお願ひいたします。 事務局からは以上でございます。
5. 閉会	
人権推進課長	それでは、次第5「閉会のごあいさつ」を稻葉副会長、よろしくお願ひいたします。
稻葉副会長	まずは、事務局の皆さま、意識調査のデータを整理していただいてありがとうございます。分析があまり出来てないと言ってましたが、

	<p>課題の抽出もよく出来ていると思いました。本当にありがとうございました。</p> <p>昨年度までの審議会では、市行政の実施した施策に対して、私ども委員が質問したり、このようにしたら良いのではないかと具申したりしておりました。今年度は第2次計画の策定が行われますので、今後5年間、久喜市の男女共同参画を大きく飛躍させることができるか、我々の双肩にかかると思います。</p> <p>久喜市の現時点の情報は、本日の資料にあります。お忙しいことかと思いますが、次回5月23日の審議会までに良くお読みいただいて、この中から推察できること、分かることを、今後の対策としてご意見をお持ちいただきたいと思います。幸いなことに意見を網羅的に全部出さないといけないわけではありません。県の講師も重点志向で良いとおっしゃってました。市のパワーで出来る範囲の目標をたてればよいと思います。この1ヶ月が勝負だと思いますので、ぜひご検討お願ひいたします。</p> <p>皆さま、次回もよろしくお願ひいたします。</p>
人権推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、平成28年度第4回久喜市男女共同参画審議会を終了させていただきます。</p> <p>大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
一同	ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成29年 3月 30日

石田 晴之

稻葉敏夫